

「水と森林円卓会議」の開催概要

1 趣旨

WSSDなど各種環境に関する会議等において、森林は水と並んで大きなテーマの一つとなっている。

また、我が国においては森林の水源かん養機能等水と森林の関係について広く知られており、様々な場で議論が行われているが、世界的に見ると森林の問題と水の問題はそれぞれ別の場で議論されている状況にある。

このため、第3回世界水フォーラムの日本開催に際して、閣僚級国際会議に先立ち、フォーラムの成果を踏まえて、閣僚等森林関係者と水関係者の水と森林についての共通認識を醸成するため、「水と森林円卓会議」を開催する。

2 主催

林野庁

3 日程

2003年3月21日（金/祝日） 9：15～13：00

4 会場

滋賀県大津市 大津プリンスホテル 比良

5 参加者（予定）

海外の行政関係者

リカルド・アングソラ パナマ環境庁長官

マーサ・カルア ケニア水資源管理・開発大臣

チャンディ・シュレッサ ネパール森林・土壌保全省次官（大臣代理）

FAO（国連食糧農業機関）、ITTO（国際熱帯木材機関）、UNFF
（国連森林フォーラム）各代表

学識経験者等

海外学識経験者

国内学識経験者

関係機関、NGO代表者

水フォーラム関係者

水と森林分科会代表

その他関係分科会代表（公募により選考中）

第3回世界水フォーラム運営委員

日本の行政関係者

太田 豊秋 農林水産副大臣

林野庁長官

地元知事

市町村長代表

その他フォーラム参加者、関連NGO、関係団体等

参加者見込み

メインテーブル 25名程度（うち海外10名程度）

フロア席 130名程度（うち海外20名程度）

計 155名程度

6 会議の構成（予定）

あいさつ等、参加閣僚等からの報告、分科会等からの報告、討論、宣言の採択